

堅牢タブレット

LZ-WC08C シリーズ  
ユーザーズマニュアル

**Logitec**

## 目次

取り扱い上のご注意	3
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	9
ごあいさつ	10
本体使用上のご注意	12
1. 本体と付属品の確認	13
2. 各部の名称	14
3. 充電仕様	17
4. 出荷時の状態に戻す（リカバリー）	22
5. その他の機能・設定	23
6. トラブルシューティング	27

## 取り扱い上のご注意

### 本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。  
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

### 動作環境温度

- ・本製品は以下の温度条件下でご使用ください。  
動作環境温度（バッテリー駆動時）： -10℃～45℃（湿度 20%～90% ただし結露しないこと）  
動作環境温度（ACアダプター接続時）： 0℃～40℃（湿度 20%～90% ただし結露しないこと）  
保存環境温度： -20℃～60℃（湿度 20%～90% ただし結露しないこと）

※ 高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。低温環境で使用する場合、起動に時間がかかったり、バッテリー駆動時間が短くなったりすることがあります。

### 表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解しながら本文をお読みください。



**危険**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



**警告**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



**注意**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークはACアダプターのプラグをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

# ⚠ 危険

## バッテリーに関する注意

- 火中に投入したり、加熱したりしない。

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。



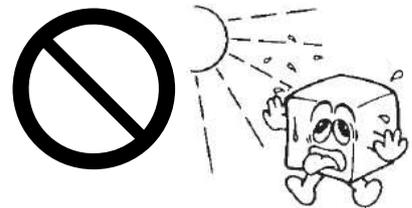
- くぎなど尖ったもので刺さない。また、衝撃を与えたり、分解改造をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



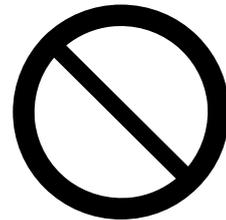
- 火のそばや炎天下、高温の場所での充電・使用・放置をしない。

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



- 対応温度・環境以外で充電しない。

対応温度・湿度範囲外の充電は液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



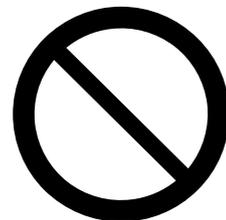
- 指定外のバッテリーパックを使用しない。

製品指定外のバッテリーパックを使用しますと液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



- プラス (+) とマイナス (-) を金属などで接触させない。

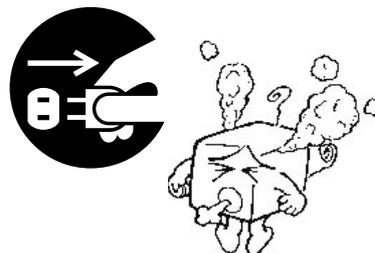
ネックレス、ヘアピンなどの金属と一緒により持ち運んだり保管するとバッテリーの端子が接触し、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



# 警告

## ● 万一、異常が発生した時。

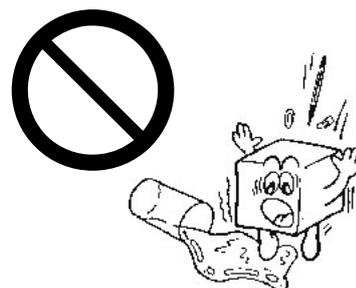
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社テクニカルサポートにご相談ください。



## ● 異物を入れない。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートにご相談ください。



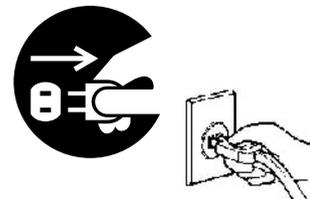
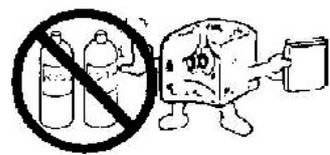
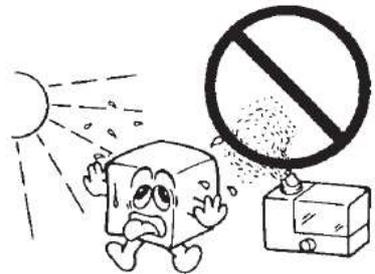
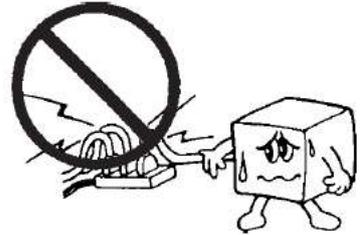
## ● 使用中は本体やアダプター・コードに長時間触れて使用しない。

やけどや低温やけどの原因となります。



## ⚠ 注意

- ACアダプターはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
- ACアダプターのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作又は、故障する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプターのプラグをコンセントから抜いておいてください。

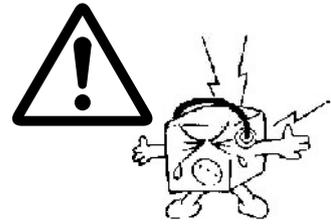


●本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害が発生する場合があります。特にヘッドフォンを使用する場合は、必ず最初にヘッドフォンを耳から離れた状態で音量を確認してください。

●LCD パネルは、膨大な数の薄膜トランジスタ（TFT）で構成されています。画面上で小数のドットの欠落、変色、発光が見られる事もありますが、これは、TFT 液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。

●本製品には、有寿命品が含まれております。LCD（液晶）パネル、バックライト、タッチパネル、バッテリー、コンデンサ等の経時による劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加、感度低下、機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理とさせていただきます。

●継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップ及びメンテナンス（有寿命品の交換、清掃）を行ってください。



## ■ 電波に関する注意事項

本製品で使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外使用が可能です。

## ■ USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) 規格以上のUSB デバイスを使用時のご注意と対策

本製品に USB 5Gbps（USB3.2 Gen1）規格以上の USB デバイスを使用した場合、電磁波の干渉により無線 LAN/Bluetooth など 2.4GHz 帯無線を使用するデバイスとの通信に影響が出る場合があります。

### 【対象デバイス】

- ・ USB 5Gbps（USB3.2 Gen1）規格以上のポートで接続する USB 5Gbps（USB3.2 Gen1）転送に対応した同規格の USB 機器すべて
- ・ 無線 LAN(IEEE802.11b/g/n/ax)、および Bluetooth を含む 2.4GHz 無線通信を行う機器全て

### 【症状：例】

- ・ 通信可能距離が短い／不安定になる
- ・ 通信速度が遅い
- ・ 通信相手を認識しない／接続が切れる

### 【対策】

- ・ 5GHz の無線 LAN を使用する（無線 LAN）
- ・ 別の USB ポートに接続する（USB 機器）
- ・ USB 機器の位置を変更する（USB 機器）

※ USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) デバイスは、USB3.0/USB3.1 Gen1 等と表記されている場合があります。

## ■ バッテリーに関するご注意

### ● バッテリーの劣化に関して

バッテリーは消耗品で、充放電を繰り返すことや、保管方法により徐々に劣化し、性能が低下していきます。

また、バッテリーの劣化に伴い、バッテリーが膨張することがあります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、安全上問題はありませんが、内部機器を圧迫し、故障の原因となります。このため、バッテリー駆動時間が極端に短くなった時や、バッテリーが膨張している場合は、バッテリーの寿命が近づいておりますので、お早めに弊社テクニカルサポートにご相談ください。

以下の様な運用はバッテリーの劣化を加速させることにより、寿命が低下する原因となりますので、ご注意ください。

- ・ 充電しながらの長時間の使用
- ・ ACアダプタからの電源供給を受けている状態での長時間の使用 (電源 ON 状態)
- ・ 高温環境下での充電、継続的な使用
- ・ 満充電状態での長期保管
- ・ バッテリー残量が 0% の状態での長期保管

### ● バッテリー駆動時間に関して

- ・ バッテリー駆動時間は、動作環境、液晶の輝度、システム設定により変動します。

バッテリー駆動時間測環境については、次の Web ページをご覧ください。

<https://pc.logitec.co.jp/qa/qa011.html>

- ・ 低温環境で下の使用はバッテリー駆動時間が短くなったり、起動に時間がかかることがありますので、ご注意ください。
- ・ バッテリーが劣化することで、バッテリー駆動時間が短くなります。

### ● バッテリー充電時間に関して

- ・ バッテリー充電時間は、動作環境、システム設定により変動します。また、完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
- ・ バッテリーを充電する場合は添付若しくは指定の仕様の AC アダプターをご使用ください。また、事前に安定して充電できるかなど、事前に動作確認することをお勧めします。

### ● バッテリーが完全放電した場合の対処について

- ・ 長期間バッテリーを放置した場合、本体の待機電源に依る放電やバッテリー自体の自然放電により、完全放電状態になってしまうことがあります。
- ・ 完全放電したバッテリーを再充電する際、AC アダプター / 充電器を接続しても充電ランプが点灯しないことが有ります。その場合、数分間充電を続けた後に AC アダプター / 充電器を抜き差しすると充電ランプが点灯します。

### ● バッテリーの保管に関して

- ・ 充電している状態のまま保管・放置しないでください。
- ・ 本製品にバッテリーを装着している場合は 1 ヶ月に 1 度、バッテリーパックが着脱可能なモデルの場合、取り外した状態では 6 ヶ月に 1 度の充電を行ってください。(それぞれ、満充電状態の場合)

### ● 充電器に関して

- ・ タブレット本体の充電が完了したら、充電器を家庭用コンセントから抜き、製品本体から充電器をはずしてください。
- ・ 付属の充電器では、製品本体をご使用になりながらの充電はお控えください。

## ■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## ■ 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

本製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

- 本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、重要なデータが読みとられ、予期しない用途に使用される恐れがあります。
- 内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
- 本製品に記録されたソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

これらより、内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように廃棄時には全データの消去の対策をお願いいたします。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはデータ消去サービス（共に有償）を利用するか、搭載された記憶装置を物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

# ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では製品の設定接続方法、機能や仕様等についてのご説明をいたします。ご使用前に必ずご一読ください。

## ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- ② 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- ③ 本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- ④ 本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑤ 本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- ⑥ 本製品の仕様はお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑦ 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑧ 本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- ⑨ 本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

### ■お問い合わせ窓口

技術的なお問い合わせ（テクニカルサポート）、修理受付窓口に関しては、製品添付の保証書に記載されています。

# 主な仕様

項目	説明
CPU	Intel (R) Pentium(R) N6415 (1.5M キャッシュ、1.2GHz/ 最大 3.00GHz、4 コア /4 スレッド)
OS	Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC 64bit (日本語版)
メモリ	8GB
ストレージ	128GB
ディスプレイ	8型ワイド 1920 x 1200 (WUXGA)
タッチ	静電容量方式タッチパネル 10 ポイントマルチタッチ (水濡れ、手袋操作対応)
内蔵カメラ	フロント：200 万画素 /リア：500 万画素 AF
スピーカー	1W × 2
システムファン	—
バッテリー	7.6V 4100mAh (31.16Wh) (リチウムイオン) * 着脱可能
バッテリー駆動時間	約 8 時間 (JEITA2.0) *1
防塵・防滴	IP65 (全面) *2
耐落下衝撃	MIL-STD-810G *1.5m 落下試験実施 (動作時) *2
無線 LAN	802.11 a/b/g/n/ac/ax
無線 WAN *3	N T T ドコモ / KDDI LTE 対応 (ナノ SIM サイズ) *4
	対応周波数 LTE : B1/3/18/19/26/28 3G : B1/6/19
	カテゴリ : Cat.4
	通信速度 : 150Mbps (下り)、50Mbps (上り) *5 *6
Bluetooth	Bluetooth 5.1 Class1
センサー	加速度センサー、照度センサー
位置測位	GPS、GLONASS、QZSS(みちびき)
IO ポート	USB 5 Gbps (Type-A) × 1、USB 5 Gbps (Type-C) × 1 *7 ヘッドセット端子 × 1、microSD カードスロット × 1、ドッキングコネクタ x1
動作環境 *8	動作温度 (充電時) : 0℃ ~ +40℃ (バッテリー駆動時) : -10℃ ~ +45℃ / 保存温度 : -20℃ ~ +60℃ 湿度 : 20% ~ 90% (ただし結露しないこと)
外形寸法	236.0 (W) × 142.0 (D) × 16.0 (H) mm
質量	730g

\*1 バッテリーケアモード無効時。JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver.2.0) に基づく。バッテリー駆動時間は、動作環境、液晶の輝度、システム設定により変動します。

バッテリー駆動時間測定環境については、次の Web ページをご覧ください。

<https://pc.logitec.co.jp/qa/qa011.html>

\*2 本製品の耐衝撃落下性能、防塵防滴性能は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。

\*3 無線 W A N は音声非サポート

\*4 キャリア契約・SIM はお客様にてご用意ください。

\*5 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。

\*6 ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

\*7 PD 対応 (出力 : 5V、3.0A / 入力 : USB PD 対応で 45W 以上の AC アダプタで充電可能)

\*8 高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。低温環境で使用する場合、起動に時間がかかったり、バッテリー駆動時間が短くなったりすることがあります。

# 本体使用上のご注意

- ・ 本製品の耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。
- ・ 動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらすと故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・ オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載のネジ径で、ネジ穴深さを超えない長さのネジを使用してください。ネジ穴深さを超えるネジを使用するとネジが本体内に突き抜け、破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- ・ オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載の推奨トルク値で締め付けてください。締付トルクが弱い場合は本体の脱落の可能性があります。また、締付トルクが強すぎる場合は本体を破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- ・ 本製品の液晶画面には極力直射日光が当たらない様にご注意ください。液晶画面に強い紫外線が長期間照射されると液晶画面に変質が発生する可能性があります。

## マニュアル中の表示について

本機を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の3つの記載が本マニュアルでは使用されています。



### メモ

役に立つ情報を記載しています。



### 重要

知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。



### 注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

# 1. 本体と付属品の確認

---

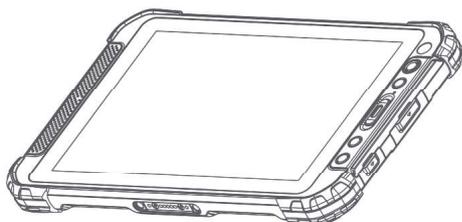
本体と標準付属品が揃っていることを確認してください。

万一、足りないものがあったり、破損しているものがあった場合は、販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。

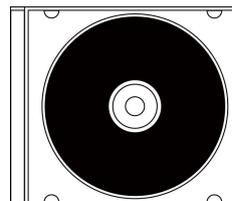
## 本体と標準付属品一覧

---

●本体



●リカバリーディスク



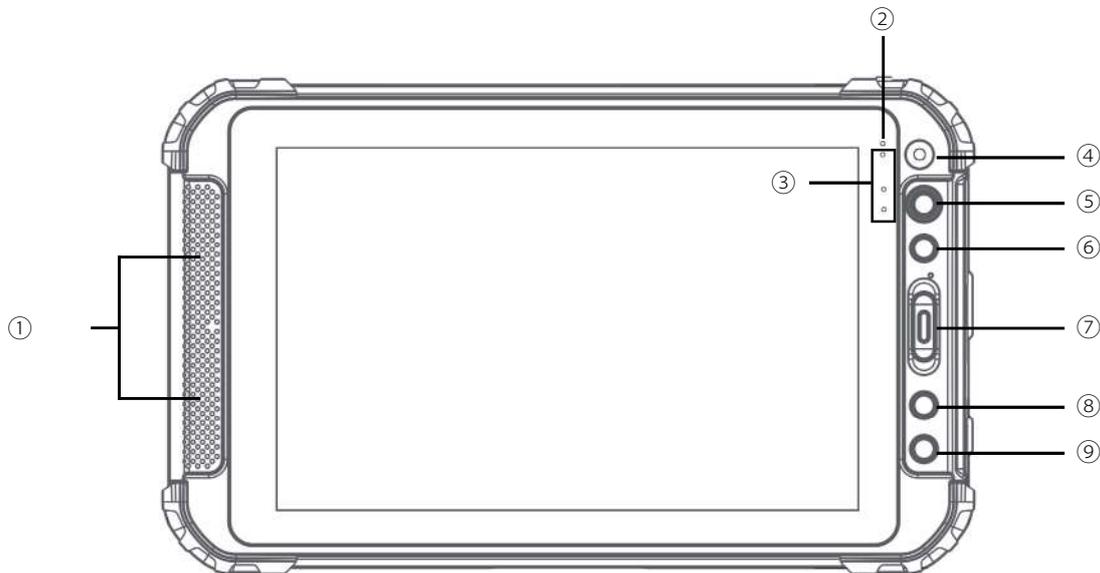
### メモ

本製品に AC アダプターは付属していません。USB PD 対応の AC アダプター (45W 以上) をご使用ください。

推奨品：エレコム株式会社製 ACDC-PD1945BK 及び、同等品

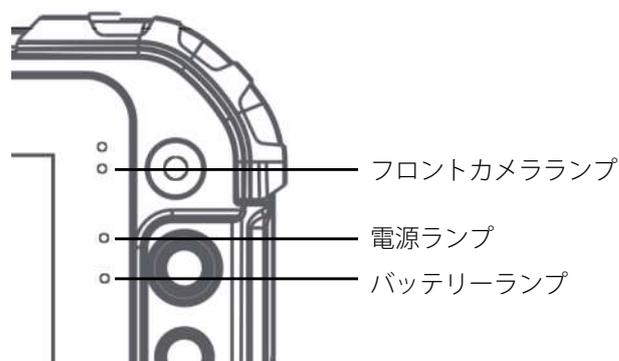
## 2. 各部の名称

### 前面



番号	名前	説明
①	スピーカー	本機の再生音を出力します。(ステレオ出力)
②	照度センサー	周辺の明るさを検知するセンサーです。
③	表示ランプ	本体の状態を示すランプです。それぞれのランプについては、以下の表をご覧ください。
④	フロントカメラ	500万画素のオートフォーカス機能付きカメラです。
⑤	電源ボタン	本体の電源をオン/オフします。
⑥	ファンクションボタン 1	「Logitec ユーティリティ」ソフトで機能を変更できるファンクションキーです。 初期設定機能：「Logitec ユーティリティ」呼び出し
⑦	ファンクションボタン 2	「Logitec ユーティリティ」ソフトで機能を変更できるファンクションキーです。 初期設定機能：機能割り当て無し
⑧	ファンクションボタン 3	「Logitec ユーティリティ」ソフトで機能を変更できるファンクションキーです。 初期設定機能：音量ボタン(アップ)
⑨	ファンクションボタン 4	「Logitec ユーティリティ」ソフトで機能を変更できるファンクションキーです。 初期設定機能：音量ボタン(ダウン)

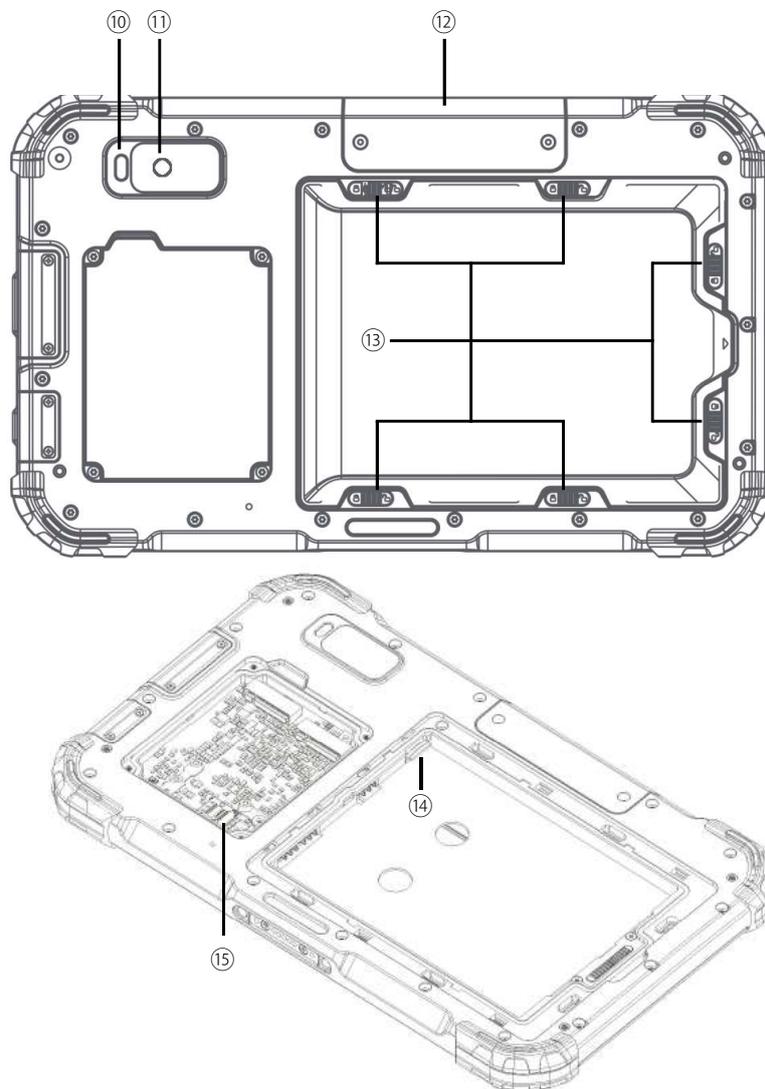
### 表示ランプ



名前	説明
フロントカメラランプ	白点灯：フロントカメラ使用状態 消灯：フロントカメラ未使用状態
電源ランプ	緑：電源オン 緑点滅：スリープ 消灯：休止状態、シャットダウン状態
バッテリーランプ	消灯：AC アダプター未接続、または、充電不可状態 * 緑点灯：充電完了 赤点灯：充電中 赤点滅：バッテリー容量 10% 以下

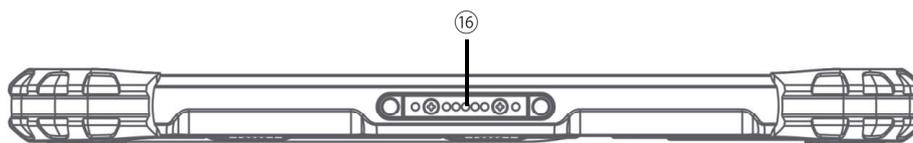
\* 低温環境又は、高温環境での使用時にはバッテリー保護の為充電機能を制限すること

## 背面



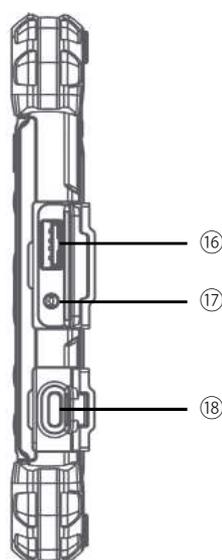
番号	説明
⑩	リアカメラ用のライトです。
⑪	500万画素のオートフォーカス機能付きカメラです。
⑫	オプション品の取り付け位置です。
⑬	バッテリーカバーを固定するスライド式のロックです。
⑭	Micro SD カード用のメモリーカードリーダーポートです。
⑮	nano SIM カードに対応したスロットです

## 底面



番号	名前	説明
⑬	ドッキングコネクタ	タブレットとオプション品を接続するためのコネクタです。

## 右側面



番号	名前	説明
⑬	USB 5 Gbps Type-A ポート	USB 5 Gbps Type-A 規格に対応した USB ポートです。
⑭	ヘッドセット端子	ヘッドホンまたは、ヘッドセットを接続できる、4 極ポートです。マイクは 3.5mm 4 ピンヘッドセットのみサポートされています。
⑮	USB 5 Gbps Type-C ポート	USB 5 Gbps Type-C 規格に対応した USB ポートです。 *PD 対応 (出力: 5V、3.0A / 入力: USB PD 対応で 45W 以上の AC アダプタで充電可能) *Display Port over USB Type-C (DP Alt Mode) 対応

## 3. 充電仕様

本機は付属のバッテリー、および 45W 以上の USB PD 対応の AC アダプター、外付けバッテリーなどの給電機器により動作します。

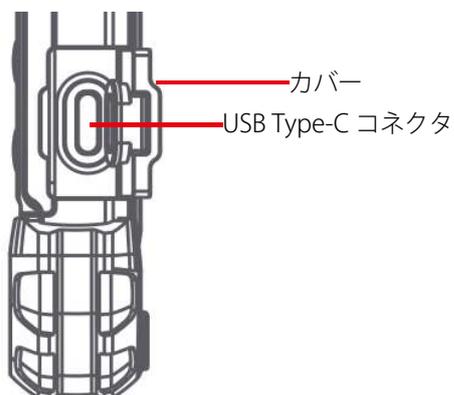


### 注意

- ・ AC アダプターなどの給電機器は、最大出力が 45W 以上の USB PD(Power delivery) 対応の製品を使用してください。最大出力が 45W 未満の給電機器では充電できません。
- ・ 給電機器は、事前に動作確認することをお勧めします。
- ・ 長期間使用せずに保管を行う場合は、2 ヶ月に 1 度バッテリーパックの充電を行ってください。充電を行わない場合、故障の原因になります。

本機に AC アダプターを接続するには次の手順で行います。

1. 本機の右側面にあるカバーを開ける
2. AC アダプターのコネクタを、本機の USB Type-C コネクタに差し込む



3. AC アダプターをコンセントに差し込む

接続した AC アダプターをコンセントに差し込むと、バッテリーの充電を開始します。

付属のバッテリーでの駆動時間、およびフル充電までの時間については、以下の表をご覧ください。

バッテリーケアモード	バッテリー駆動時間※ 1	フル充電までの時間※ 2
無効 (最大充電容量: 100%)	約 8 時間	約 3 時間
有効 (最大充電容量: 80%)	約 6 時間	約 2.5 時間

※ 1 ・ JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver.2.0) による測定時間。バッテリー駆動時間は、動作環境、液晶の輝度、システム設定により変動します。バッテリー駆動時間測定環境については、次の Web ページをご覧ください。

<https://pc.logitech.co.jp/qa/qa011.html>

※ 2 バッテリー充電時間は、動作環境、システム設定により変動します。また、完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。



### メモ

- ・ 低温環境使用時には、リチウムイオンバッテリーの特性上、バッテリーの容量が低下します。その場合、バッテリー駆動時間が短くなる可能性があります。
- ・ 出荷時設定では最大充電容量を 80% に制限しています。(バッテリーケアモード有効)

## 充電制限機能について

ACアダプター接続時、動作環境温度（0℃～40℃）を超える環境で本機を使用する場合、内蔵バッテリー保護のため、バッテリーへの充電を制限する「充電制限機能」が働くことがあります。充電制限中は、バッテリーランプが消灯し、バッテリーが充電されません。この状態で長時間使用を続けると、バッテリーが放電を続け、バッテリー切れの状態になりますのでご注意ください。

## 高温環境でのご使用について

高温環境で高負荷運転を長時間続けた場合、バッテリー保護の為にタブレットが休止状態に移行することがあります。

## 電源の ON / OFF、再起動

本機は専用の AC アダプターと接続し、バッテリーを充電することで動作します。本機の電源の ON / OFF、再起動は次の手順で行います。

### 電源を入れる【電源 ON】

1. 本体右側面の電源ボタンを押す

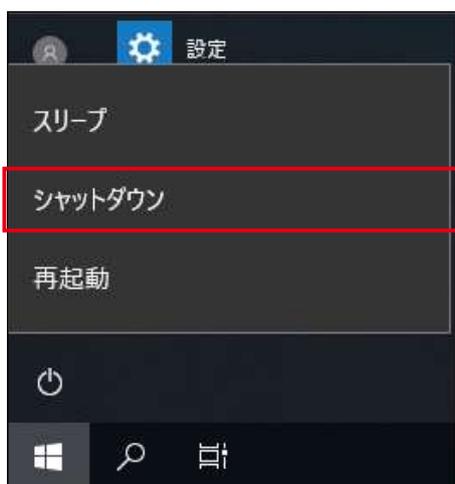
起動画面が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。

パスワードを設定していたり、複数のユーザーで使用している場合は、ロック画面が表示されますので、サインインしてください。サインイン後、ホーム画面が表示されます。



### 電源を切る【シャットダウン】

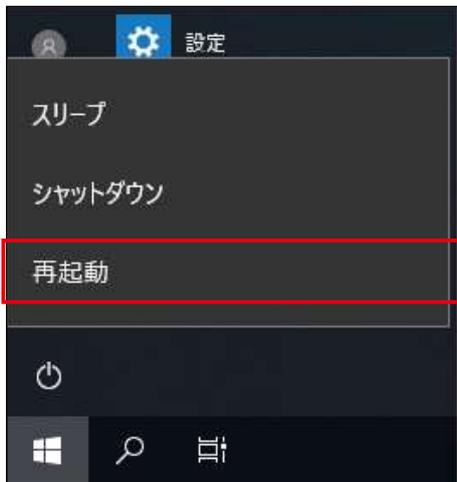
1. 「 (スタート)」をタップする
2. 「 (電源)」- 「シャットダウン」をタップする



シャットダウンが実行され、画面が消灯します。

## 再起動する

1. 「 (スタート)」をタップする
2. 「 (電源)」 - 「再起動」をタップする



再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。

## 電源ボタン操作によるタブレットの動作

本体の電源ボタンは約 1 秒長押しすると動作します。

以下に電源ボタン操作によるタブレットの動作を記載します。



### 注意

出荷時の OS 状態での動作です。OS や設定により動作が異なる場合があります。

本体の電源の状態	電源ボタン操作	
起動状態	1 秒程度の長押しでスリープに移行	10 秒以上の長押しで強制シャットダウン
シャットダウン状態	1 秒程度の長押しで起動	
スリープ状態 または ディスプレイの電源を切る	1 秒程度の長押しでスリープ状態から復帰	10 秒以上の長押しで強制シャットダウン

## 4. 出荷時の状態に戻す（リカバリー）

---

内部ストレージの全データを消去し、出荷時の状態にリカバリーします。

### リカバリー

---



#### 注意

Microsoft アカウント、システムやアプリのデータと設定、ダウンロードしたアプリ、音楽、画像、他のユーザーデータを含む内部ストレージの全データが消去されます。バックアップが必要なデータはあらかじめ USB デバイスや SD カードに保存してください。

通常、リカバリーを行う必要はありません。何らかの原因（コンピュータウイルスなど）により、本機を起動できなくなった場合など、やむをえない場合にリカバリーを行います。

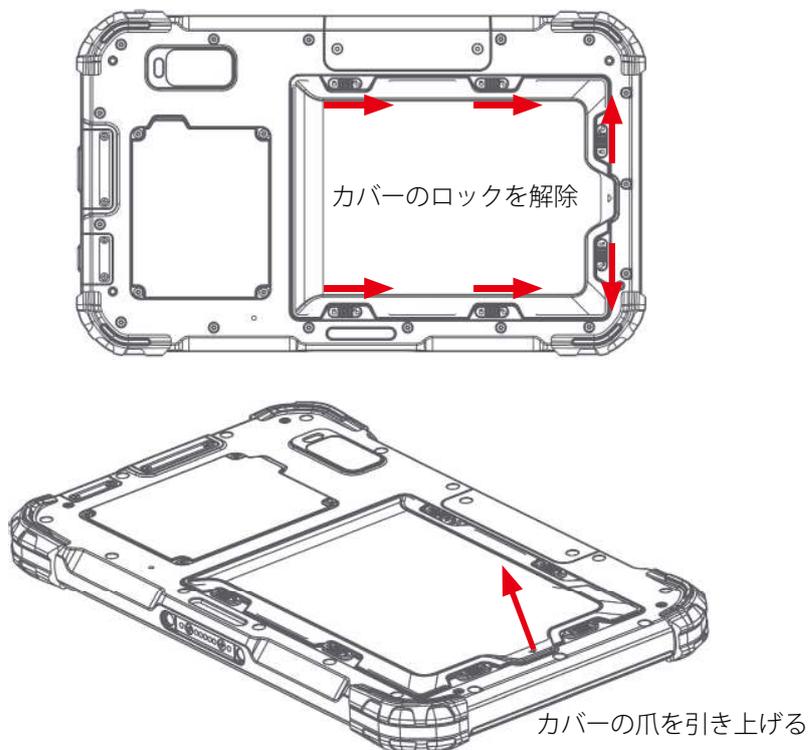
具体的な手順については「リカバリー手順書」をご覧ください。

## 5. その他の機能・設定

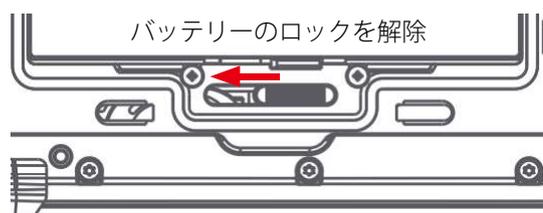
### Micro SD カードの取り付け

Micro SD カードを本機のスロットに挿入します。

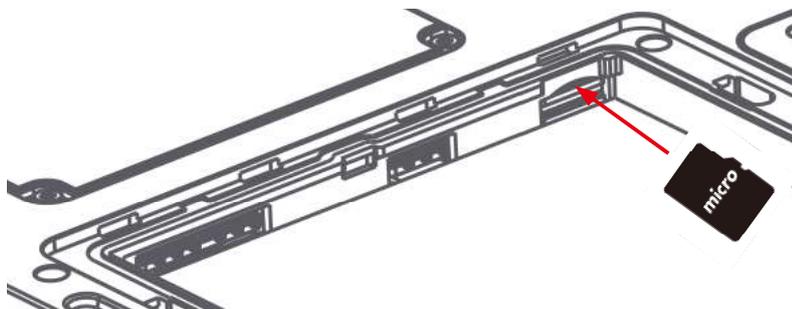
1. 本機背面のカバーのロックを解除し、カバーを取り外す。



2. バッテリーのロックを解除、バッテリーを取り外す。



3. 下図の向きに Micro SD カードの向きを合わせ本体のスロットに挿入する



メモ

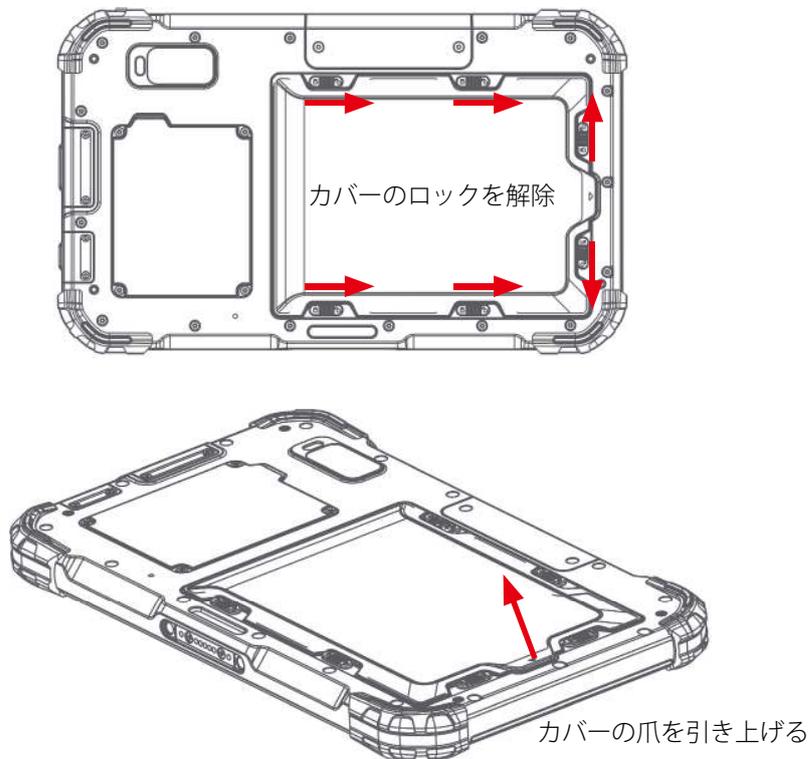
SD カードの挿入、取り外しがしにくい場合は、ピンセットなどをご使用ください。

# nano SIM カードの取り付け

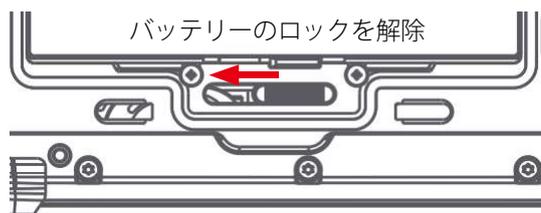
nano SIM カードを本機の SIM スロットに挿入します。

nano SIM カードは標準サイズ（12.3mm × 8.8mm）をご使用ください。

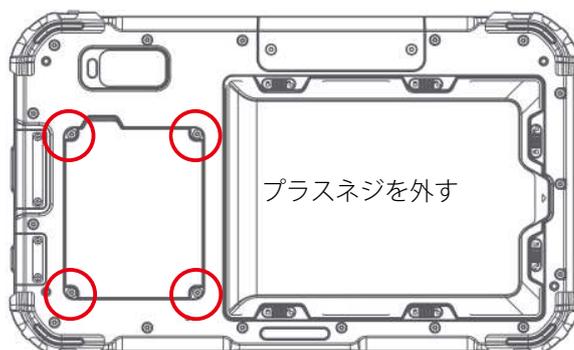
1. 本機背面のカバーのロックを解除し、カバーを取り外す。



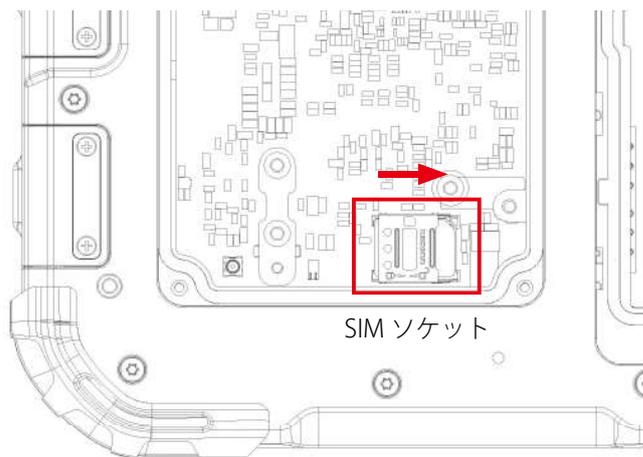
2. バッテリーのロックを解除し、バッテリーを取り外す。



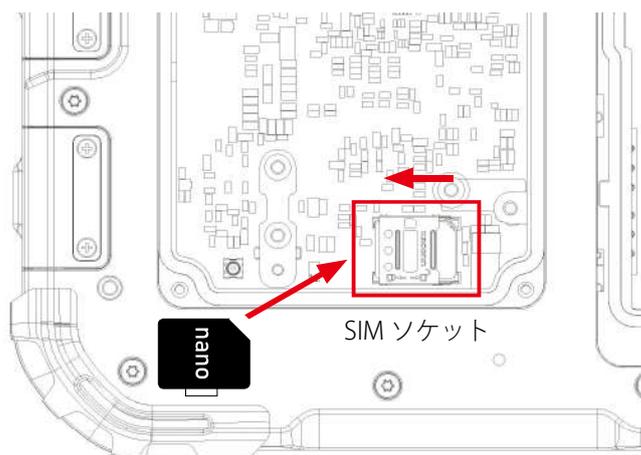
3. 本機背面リアカバーのプラスネジ4本を取り外して、リアカバーを取り外す。



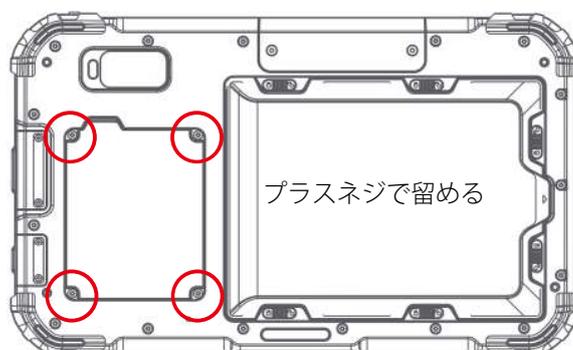
4. SIM ソケットの上蓋を右側にスライド (Open) させて上蓋を開閉する。



5. SIM カードの端子を下にして装着する。装着後は上蓋を閉じて左にスライド (Lock) させて、SIM カードを Lock 状態にする。



6. 3. で取り外したプラスネジ 4 本をネジ止めし、リアカバーを閉める

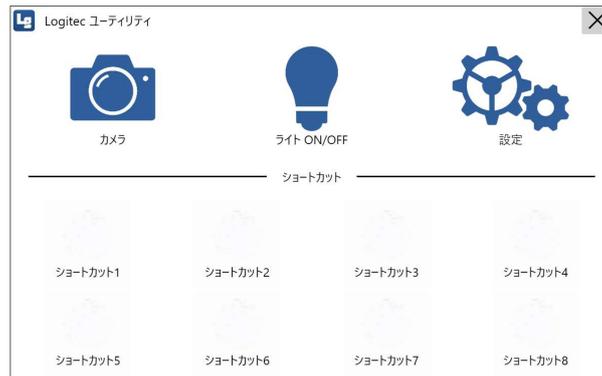


# Logitech ユーティリティ

LZ-WC08 には「Logitech ユーティリティ」ソフトウェアを標準搭載しています。

主な機能は以下の通りです。

- カメラ機能の呼び出し
- リアカメラライトの ON/OFF 切り替え
- ファンクションボタンの機能割り当て変更
- ショートカットボタンの登録
- タッチパネルモード切替



Logitech ユーティリティ TOP 画面



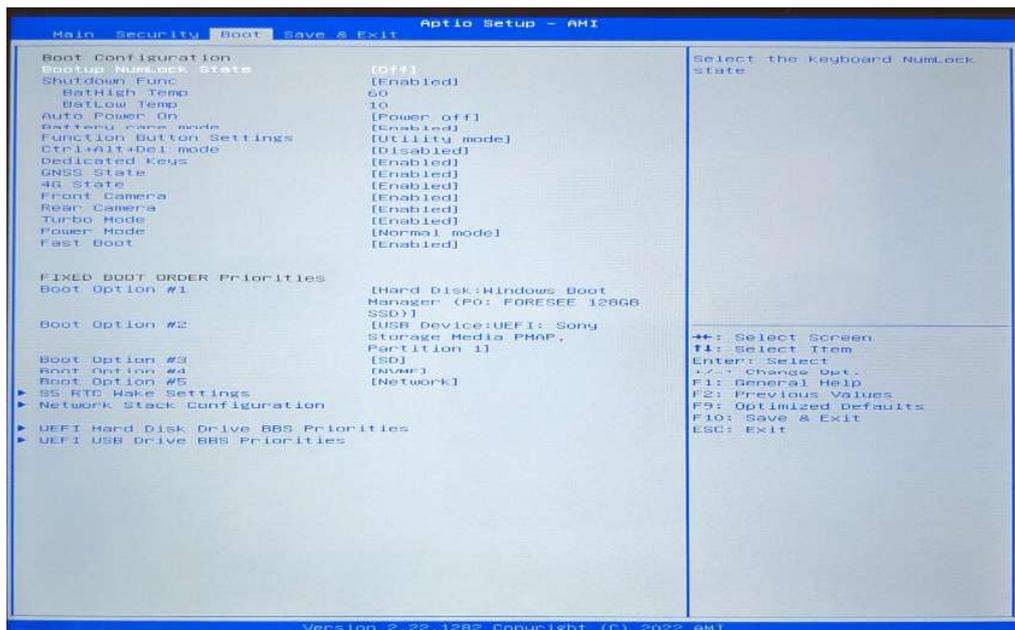
## メモ

「Logitech ユーティリティ」の詳細につきましては、「Logitech ユーティリティ マニュアル」をご参照ください。

## その他の機能

LZ-WC08 では BIOS 設定を変更することにより、以下の機能を使用することができます。  
設定の変更手順を以下に示します。

1. タブレットにキーボードを接続して、電源ボタンを押して起動する。
2. 「Logitec ロゴ」画面で「Del」キーを何度か押すと、BIOS 設定画面に入る。
3. 「Boot」画面に移動し、任意の設定変更を行う。
4. 「Save & Exit」画面に移動し、「Save Changes and Exit」→「Yes」を選択する。  
※タブレットは自動的に再起動します。



BIOS 設定画面

### 設定と機能

名前	説明
Auto Power On	Power on タブレットがシャットダウン状態の時に外部電源を供給すると、タブレットが自動的に起動します。 Power off (初期設定) タブレットがシャットダウン状態の時に外部電源を供給してもタブレットは起動しません。
Battery care mode	Disabled バッテリーケアモードを無効にし、バッテリーの最大充電容量を 100% にします。 Enabled (初期設定) バッテリーケアモードを有効にし、バッテリーの最大充電容量を 80% に制限し、バッテリーの劣化を抑制します。
Function Button Setting	Utility mode (初期設定) 「Logitec ユーティリティ」を使用する為の設定です。 Tablet mode 「Logitec ユーティリティ」を使用せず、規定のファンクションボタン設定を使用する為の設定です。規定のファンクションボタン設定は以下の通りです。 ファンクションボタン 1: 画面の回転ロック ON/OFF 切り替え ファンクションボタン 2: ホームボタン機能 (デスクトップ画面表示) ファンクションボタン 3: ボリュームアップ ファンクションボタン 4: ボリュームダウン

## 設定と機能 ( 続き )

名前	説明
Ctrl + Alt + Del mode	<p>Disabled ( 初期設定 ) Ctrl + Alt + Del キーの割り当ては行いません。</p> <p>F1 ファンクションボタン 1 に Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。</p> <p>F2 ファンクションボタン 2 に Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。</p> <p>F3 ファンクションボタン 3 に Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。</p> <p>F4 ファンクションボタン 4 に Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。</p> <p>※任意のファンクションボタンの機能を Ctrl + Alt + Del キーに割り当てます。この設定で機能を割り当てたファンクションボタンは、「Logitech ユーティリティ」によるファンクションボタン設定は行えなくなります。</p>
GNSS State	<p>Disabled GNSS(GPS) の機能を無効にします。消費電力抑制の効果が期待できません。</p> <p>Enabled ( 初期設定 ) GNSS(GPS) の機能を有効にします。</p>
Front Camera	<p>Disabled フロントカメラの機能を無効にします。</p> <p>Enabled ( 初期設定 ) フロントカメラの機能を有効にします。</p>
Rear Camera	<p>Disabled リアカメラの機能を無効にします。</p> <p>Enabled ( 初期設定 ) リアカメラの機能を有効にします。</p>
Turbo Mode	<p>Disabled インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーを無効にします。</p> <p>Enabled ( 初期設定 ) インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーを有効にします。</p>



### メモ

上記以外の BIOS 設定については、担当営業かテクニカルサポートまでお問い合わせください。

## 6. トラブルシューティング

問題	対応
バッテリーが充電されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>AC アダプターが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>充電中に充電ランプが消灯した場合は、充電制限中になっています。本機を常温環境に置き、本機の電源を切る（シャットダウンする）か、高負荷な状態になる作業を停止してください。</li> <li>使用している AC アダプターが USB PD 45W 以上に対応している事を確認してください。</li> </ul>
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機がスリープ状態になっている可能性があります。電源ボタンを押し画面が表示されるか確認してください。</li> <li>画面の輝度が低くなっている可能性があります。輝度を調整してください。</li> </ul>
画面が突然消え、電源ランプも消灯した	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機をバッテリーで使用している場合、バッテリーが切れた可能性があります。バッテリーを充電してください。</li> </ul>
ワイヤレス LAN の電波が弱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>電波の範囲外の可能性があります。本機をルーターなど接続する機器の近くに移動させて確認してください。</li> <li>本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、ワイヤレス LAN の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機やワイヤレス LAN 機器から、それらの機器を離してください。</li> <li>USB3.0 機器を接続している場合、別のポートに接続したり、USB 機器の位置を変えるなど試してください。</li> </ul>
他のワイヤレス LAN 機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機のワイヤレス LAN 機能がオンになっているか確認してください。</li> <li>ネットワーク内のすべてのワイヤレス LAN 機器で、SSID の設定が同じであることを確認してください。</li> <li>本機を再起動してみてください。</li> <li>IP アドレスやサブネットマスクなどネットワークの設定が正しく設定されているか確認してください。</li> </ul>
Bluetooth で他の機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機と接続先の機器の両方の Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。</li> <li>本機と接続先の機器の両方の電源が入っていて、かつ、検出可能になっていることを確認してください。</li> <li>接続先の機器と本機の距離が 10m 以内であることを確認してください。また、間に壁や大きな障害物が無いことを確認してください。</li> <li>本機と接続先の機器に互換性があることを確認してください。</li> </ul>
GPS を使用するアプリケーションで位置情報が取得できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS のカバーエリア外の可能性があります。屋外や、窓の近くに移動してみてください。</li> <li>本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、GPS の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機をそれらの機器から離してください。</li> </ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量ボタンで、本機の音量を調整してください。</li> <li>外部のオーディオ機器を使用している場合は、正しく配線されているか確認してください。</li> </ul>

